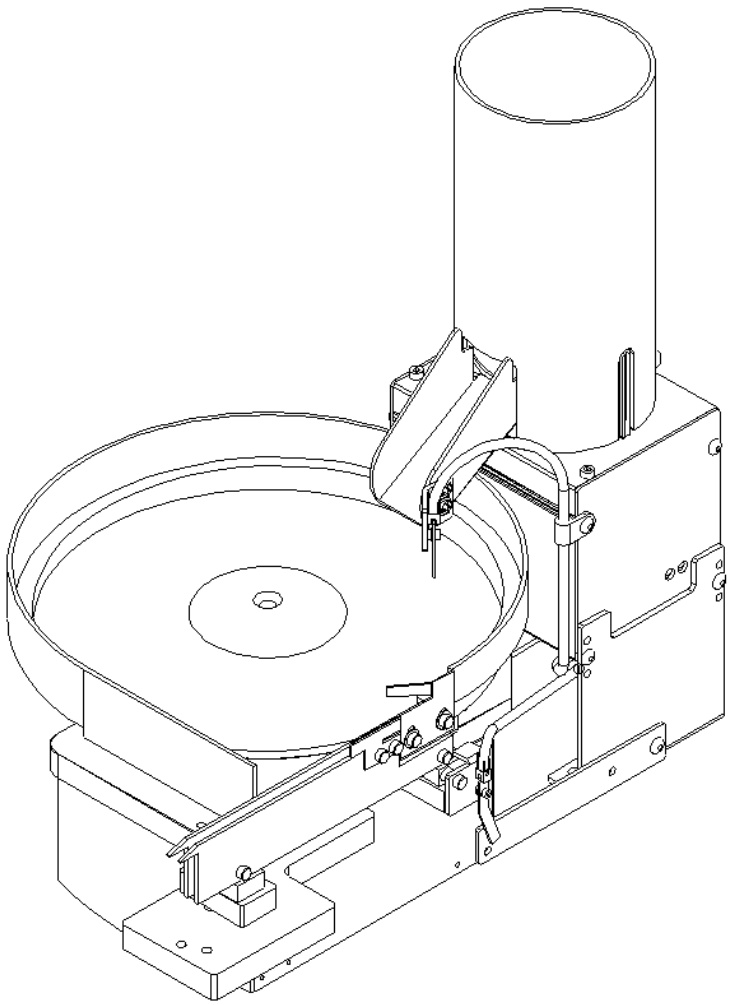
i-Feed

パーツフィーダホッパ　IF-H80

取　扱　説　明　書

第 1．1 版



SUS Corporation

目　次

１．はじめに ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1-1
１．１　付属品について
１．２　安全にお使いいただくために
２．概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2-1
３．仕様 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3-1
３．１　仕様
３．２　外形図
３．３　各部の名称
４．使用方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4-1
４．１　IF との連結方法
４．２　IF 運転検出センサの取付
４．３　ワーク検出センサの調整
４．４　運転方法
４．５　ワークの取り出し方
５．コントローラ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5-1
５．１　各機器の説明
５．２　運転信号
５．３　排出動作
５．４　動作モード
５．５　タイマー設定
５．６　原点復帰
５．７　内部設定
５．８　アラーム
５．９　パソコンソフト
６．メンテナンス・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6-1
６．１　本体の清掃
６．２　部品の交換方法
７．トラブルシューティング ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7-1

８．保守部品・・・・・・・・・　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・8-1

改版履歴

版	年 月 日	内　　容	変更ページ
1.0	2014/2/28	第１版　制定	-
1.1	2014/10/29	IF との連結方法追記。	4-3

１．はじめに

この度は、パーツフィーダホッパ IF-H80 をお買い上げ頂き有り難うございます。

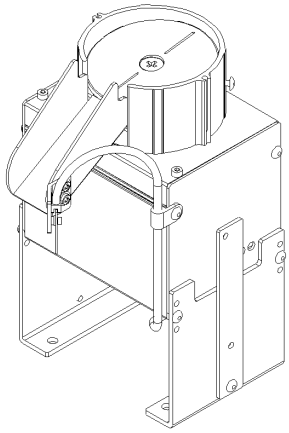
本取扱説明書は本機の取り扱い、運転方法等について詳細に説明してありますので、
よくお読みになり正しくご使用されますようお願いいたします。
また、本書を機械の近くに保存し、機械を扱う全員の方が定期的に見るようにしてください。

本取扱説明書に記載されている内容は製品改良の為、予告無しに変更することがあります。
最新の情報は、当社ホームページをご覧ください。　http://www.sus.co.jp/

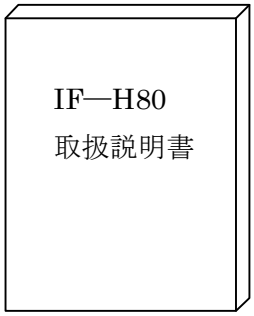
■ ■　１．１　付属品について　■ ■

製品がお手元に届きましたら、付属品の確認をお願いします。

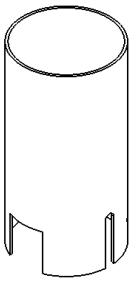
□IF-H80 本体



□取扱説明書（本書）



□パイプ



□IF 運転検出センサ ASSY

□AC アダプタ（Item No.SUC-054）

■ ■　１．２　安全にお使いいただくために　■ ■

安全にお使いいただくために、よくお読みになり正しくお使いください。
以下に示す内容は､お客様や他の人への危害､財産への損害を未然に防止するためのものです。

⚠ 警告	この表示は､「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠ 注意	この表示は､「傷害を負うまたは物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

■■■■■　警　告　■■■■■

●本書に記してあること以外の取り扱い・操作は原則として､「してはならない」と解釈してください。
●人命に関わる装置には使用できません。
●作業される場合は、必ず電源を切った後に行ってください。
●濡れた手で電源コードを触らないでください。感電の恐れがあります。
●本機は不燃物に取り付けてください。火災の原因になります。
●各コネクタには仕様に合った電圧以外は印加しないでください。
また、極性を間違えないようにしてください。
●通電中や電源 OFF 後は、本機が高温になっている場合があります。触れないでください。
●本機の分解や改造は行わないでください。
●本機を廃棄する場合は、一般産業廃棄物として処理してください。

■■■■■　注　意　■■■■■

●本機は精密機器です。落下させたり、強い衝撃を与えたりしないようにしてください。
●コントローラはモータ駆動用に高周波のチョッピング回路を有しています。
そのため、外部にノイズを発生しており、計測器や受信機などの微弱信号を扱う機器に影響を与える可能性があり、同一の装置で使用されるには、問題が発生する場合があります。
●本機には、緊急に停止させる非常停止機能はありません。
緊急時に動作を瞬時に停止させる事が必要な場合は、電源を遮断するなどの処理を、お客様にてご用意下さい。
●本機は脱調した場合の位置ずれを補正する為に、定期的に原点復帰するようになっています。
原点復帰時は位置決めボルトに押し付ける方式となっておりますのでぶつかる音がしますが、故障ではありません。

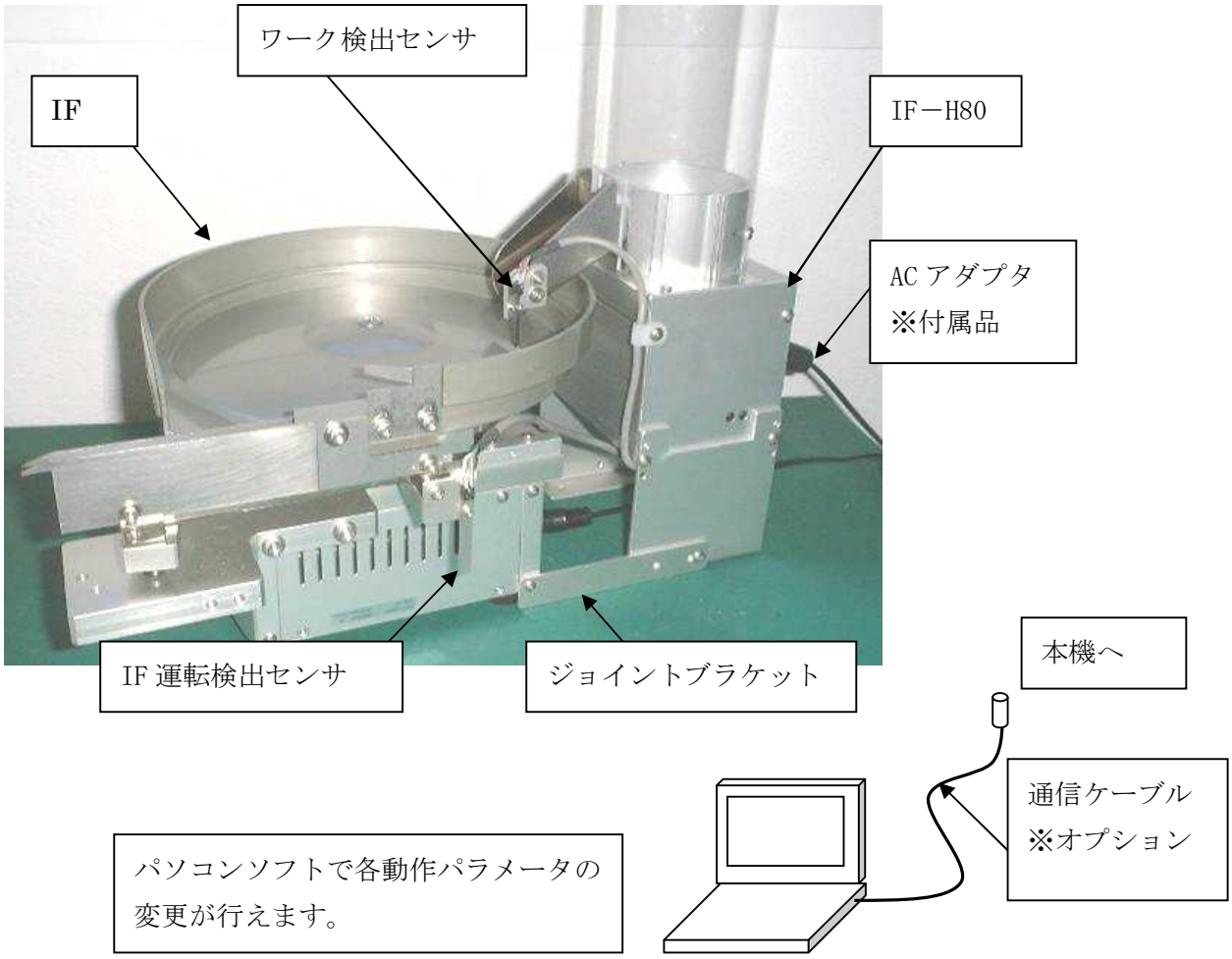
２． 概要

本機は、弊社パーツフィーダ IF-135、IF-200 の関連商品として開発されました。

■パーツフィーダへワークを自動供給する機器です。
■IF-135、IF-200 に簡単に取り付け・位置出しが行えるよう、専用ブラケットを標準化しました。
■パーツフィーダの動作を判別するための専用センサを開発し、パーツフィーダの動作、停止を確実に判断します。
■ワーク有無検出はホッパ側に設置し、パーツフィーダへの面倒な取付は必要ありません。
■ワークストックは、透明なパイプを使用していますので、残量が一目瞭然です。
■ステッピングモータを使用することで、メンテナンスフリーで低価格な商品になっています。
■シンプルな構造となっており、定期的なメンテナンスも簡単に行えます。

システム構成

システム構成及び、機器の名称を示します。



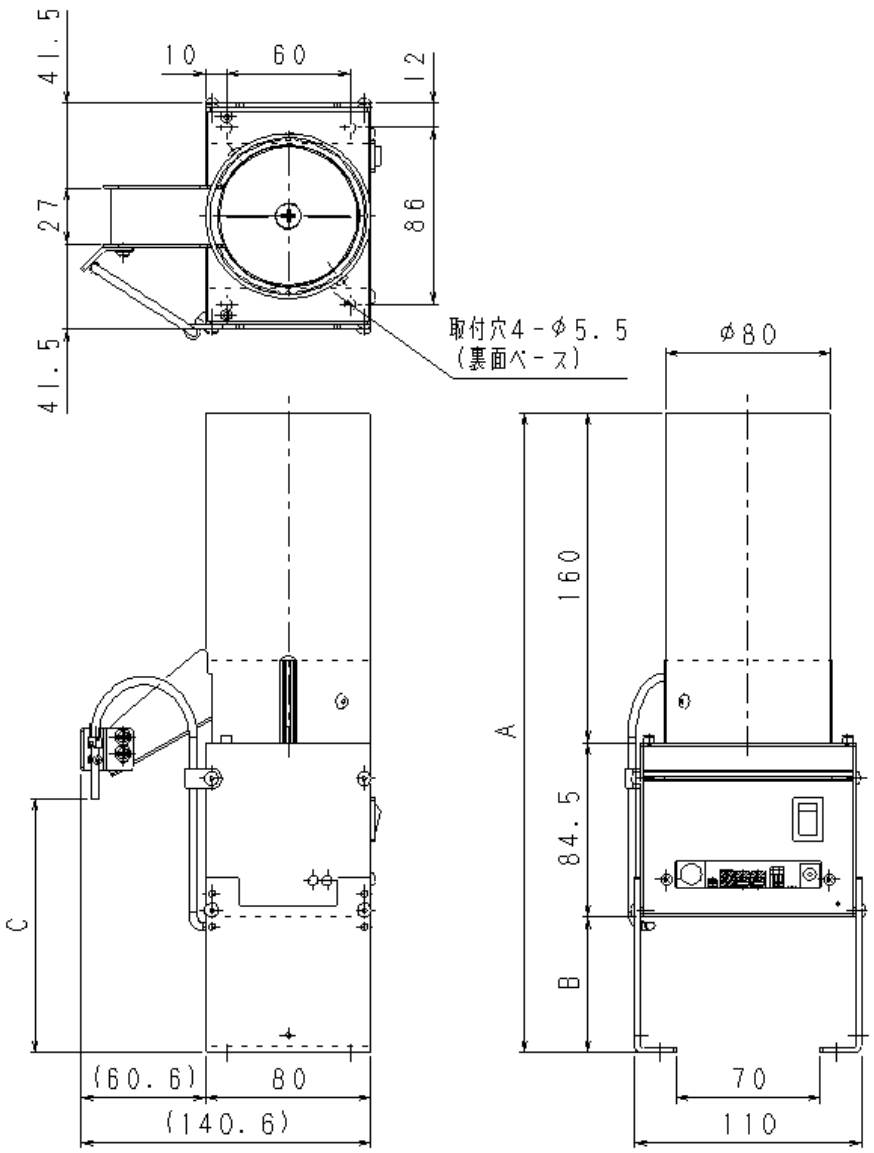
３． 仕様

■ ■ ３．１ 仕様 ■ ■

項目	仕様
容量	520cc
耐荷重	2kg
ワーク容器	アクリルパイプ　外径φ80、t=2、L=160（mm）
電源	DC24V 1A （AC アダプタ使用　Item No.SUC-054）
駆動源	ステッピングモータ
対応機種	IF-135、IF-200
適用ワーク	ネジ・ナット・樹脂部品等　直径φ2mm 以上（M2 以上）
本体重量	1.2kg
制御部	本体に内蔵
動作モード	3 パターン　①積算モード　②センサモード　③間欠モード
外部入力	動作指令
外形寸法	幅 110mm、奥行 140.6mm、高さ 302.5mm or 310.5mm or 318.5mm
使用温度	室温 0～40℃、湿度 80RH 以下、結露なきこと
使用環境	屋内で直射日光が当たらない場所。水滴・切削油等が飛散しないこと。
	腐食性ガスが発生しない場所。粉塵が多くない場所。
	0.5G を超える衝撃や連続する振動が伝わらない場所。
	甚だしい電磁波、紫外線、放射線がないこと。
通信機能	RS232C 準拠

■ ■　３．２　外形図　■ ■

単体寸法図

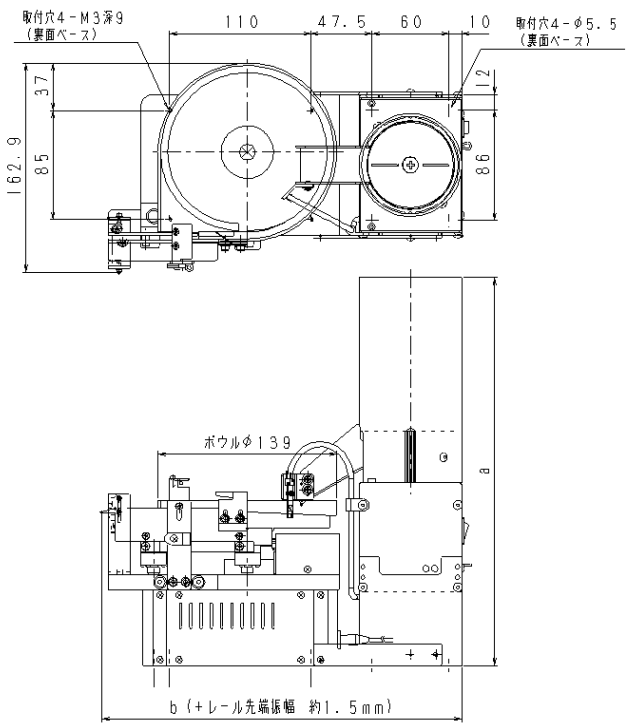


寸法表（単位：mm）

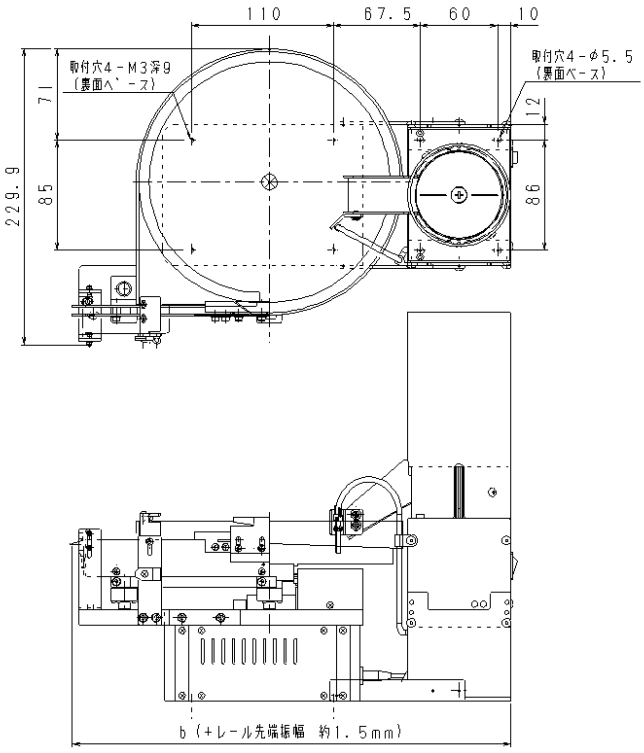
IF 機種		ワークサイズ	A	B	C　(*1)
IF-135	自動機	φ8 以下	302.5	58.0	115.0
	手動機	φ8 以下	310.5	66.0	123.0
IF-200	自動機	φ10 未満	302.5	58.0	115.0
		φ10 以上	310.5	66.0	123.0
	手動機	φ10 未満	310.5	66.0	123.0
		φ10 以上	318.5	72.0	131.0

(*1)　C 寸法は＋３mm調整が可能です。

【IF-135 連結時】



【IF-200 連結時】

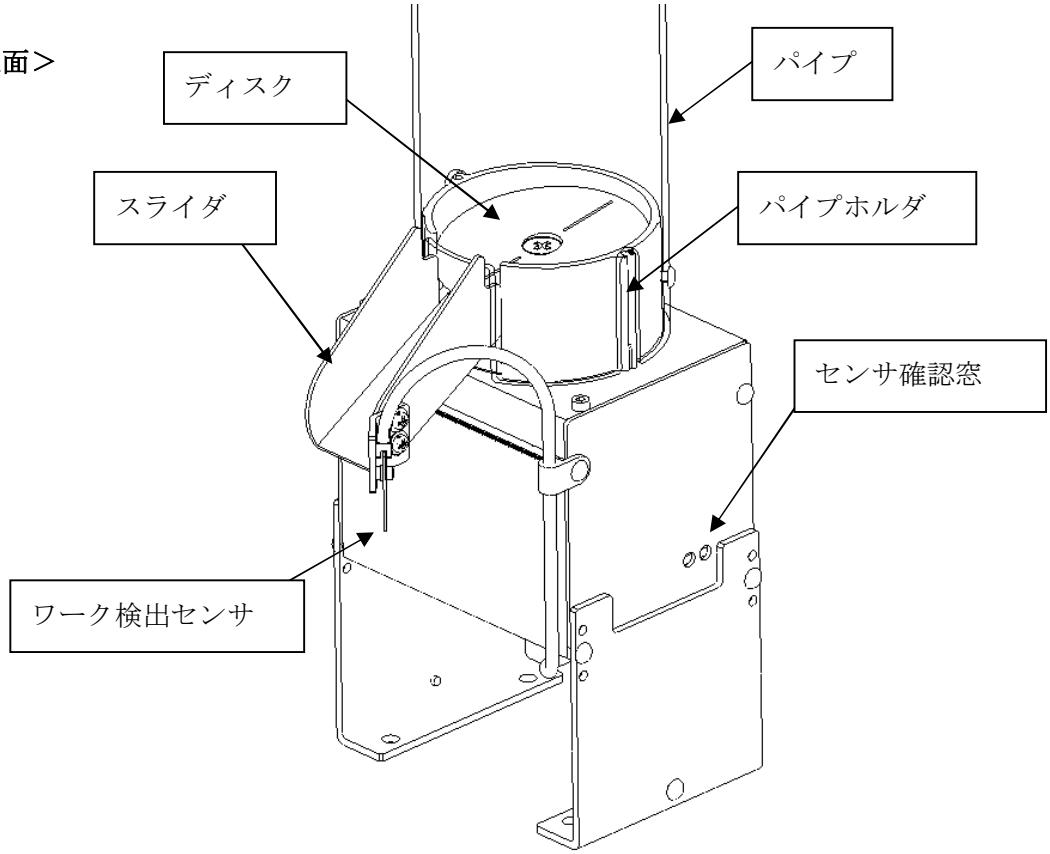


寸法表（単位：mm）

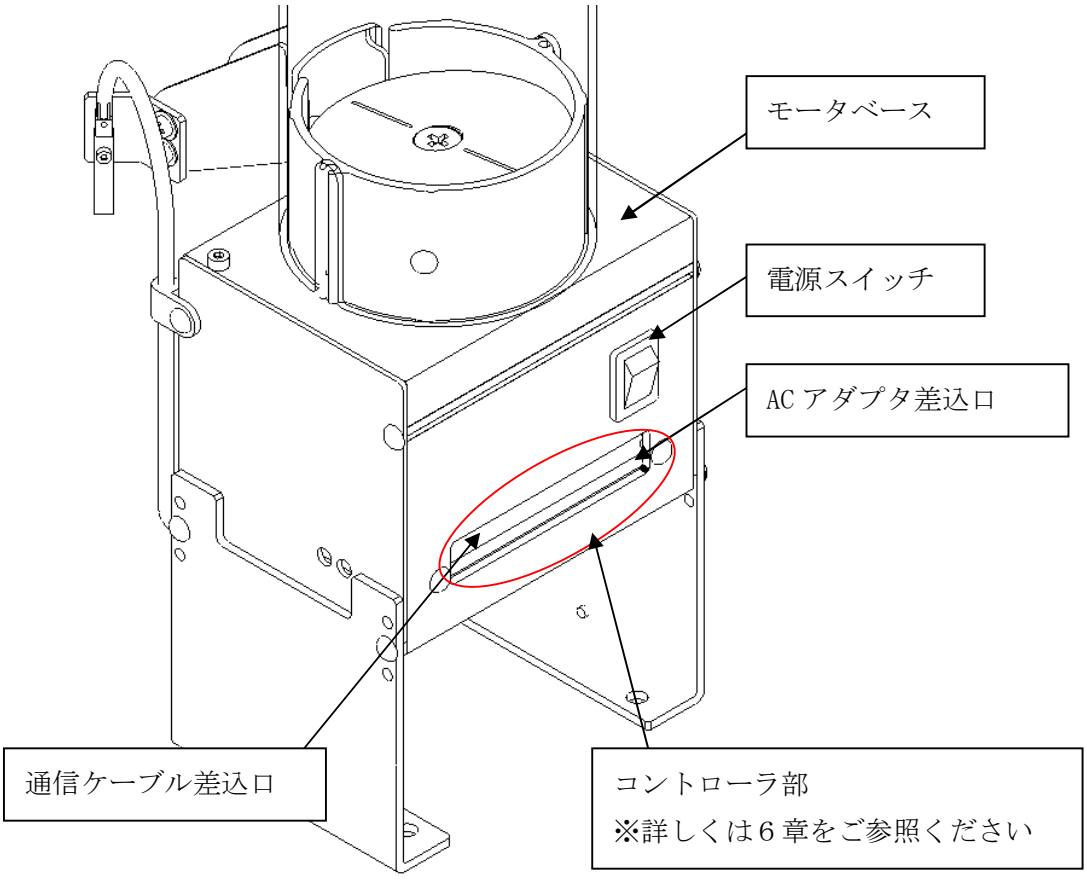
IF 機種		ワークサイズ	a	b
IF-135	自動機	φ8 以下	302.5	280.2
	手動機	φ8 以下	310.5	275.2
IF-200	自動機	φ10 未満	302.5	340.2
		φ10 以上	310.5	340.2
	手動機	φ10 未満	310.5	335.2
		φ10 以上	318.5	335.2

■ ■　３．３　各部名称　■ ■

＜正面＞


ディスク
パイプ
スライダ
パイプホルダ
センサ確認窓
ワーク検出センサ

＜裏面＞


モータベース
電源スイッチ
AC アダプタ差込口
通信ケーブル差込口
コントローラ部
※詳しくは６章をご参照ください